

西濃圏域 各医療機関の2025年に向けた対応方針【①今後の方向性】

NO	状況	医療機関名	所在地	自施設の現状等	2025年に向けて担うべき役割等	病床機能等の見直し						
						① 病床 機能	② 病床数	③医療 機関の 役割	④ 連携、 再編	⑤ その他	⑥ 現状 維持	具体的な内容
2	変更	医療法人徳洲会 大垣徳洲会病院	大垣市	<p>【現状、特徴】 脳神経外科、整形外科、循環器内科は充実しており高度急性期にも対応できる。二次救急の対応に力を入れており、年間約4000件を受け入れている。災害医療に貢献できるよう72時間電源供給可能としている。</p> <p>【課題】 内科、産婦人科、小児科の体制強化を検討している。後方支援施設を所有していない。医師の働き方に則った医師数を確保することで質の高い医療を目指す。</p>	二次救急受け入れ施設として、要請にはできるだけ断らない体制づくり。災害時に診療が継続可能な体制づくり。	○						地域医療構想策定ガイドラインの医療需要の考え方に則り、現在、当院で日当点が3,000点以上の病床を高度急性期病床と捉えています。今後、さらに日当点の向上を図り、将来的に既存のHCUを10床に増やし、HCUからICUへ切り替え、一般病棟30床をHCUとする方針です。
8	変更	岐阜県厚生農業協同組合連合会 岐阜・西濃医療センター 西美濃厚生病院	養老町	<p>【現状、特徴】 ・当院は西濃圏域の西南濃地域の医療を担っており、養老町を中心に、大垣市西南部・海津市北部からの患者の受け入れを行っています。 ・令和5年10月に診療・病床機能の再編を行い、回復期(105床)・慢性期(35床)・介護医療院(56床)として運営しています。 ・当院は、回復期、慢性期及び在宅医療等に積極的に取り組みます。また、高度・専門的な手術および外来診療が必要な場合には、三次医療機関(基幹病院)との連携を図り対応します。</p> <p>【課題】 ・令和5年10月に診療・病床機能の再編を行った結果、常勤医師11名(歯科医師1名含む)となり、整形外科においては医師派遣がなく休診、外科、麻酔科は非常勤医師での対応となった。また、常勤医師の高齢化・非常勤診療科の増加に伴い救急医療体制の維持による医師の負担が増加するなど、医師の確保が急務となっています。</p>	<p>・西南濃地域の医療・介護需要を見据えて、回復期・慢性期、介護医療院を中心とした医療・介護提供体制を担う。 ・次の役割を担うべく取り組む。 「地域に必要とされる診療体制の維持」「救急医療の体制の維持」「災害時の医療提供体制の維持」「地域医療機関等との連携の推進」「予防医療の促進」「地域包括ケアシステム構築に向けた取組みの推進」「新型インフルエンザ等特別措置法に基づく指定公共機関としての体制の確保」「鳥インフルエンザ、CSF(豚熱)、新型コロナウイルス感染症対応の体制確保」</p>	実施済み	実施済み				実施済み	<p>・西濃医療圏にある当院(養老町)と揖斐厚生病院(揖斐川町)の病床再編を段階的に行い、令和5年10月に大野町に急性期・回復期を中心とした新病院を開院した。 ・当院は、第一段階として、令和2年4月に慢性期病床の一部を介護医療院へ機能転換、令和5年10月より、当院の急性期病床は新病院へ移床させ、西南濃地域の医療・介護需要を見据えて、病床機能を回復期(105床)・慢性期(35床)・介護医療院(56床)とした。</p>
10	新規	岐阜県厚生農業協同組合連合会 岐阜・西濃医療センター 西濃厚生病院	大野町	<p>【現状、特徴】 当院は、西濃圏域北部地域唯一の総合診療機能を有する病院です。3次医療機関との連携を前提に、急性期から回復期・在宅医療、予防医療と地域の中核病院として切れ目のない医療を提供しています。</p> <p>【課題】 非常勤診療科の常勤化および医師一人診療科の複数医師の確保により、継続的に充実した医療を提供すること。</p>	<p>限られた医療資源のなかで「地域完結型」の医療を提供する役割を担います。また、西濃医療圏北部の医療需要に応えるべく、高齢化が急速な勢いで進むなかで、患者の利便性も踏まえた医療提供体制の確保も当院の重要な役割です。</p> <p>・4疾病への取り組み ・救急医療への取り組みと提供体制の確保 ・へき地医療拠点病院としての役割 ・地域医療機関との連携 ・地域包括ケアシステムにおける中心的な役割 ・災害時の医療提供体制の維持、確保 ・予防医療の促進 ・医師確保を含む診療体制の維持</p>	実施済み	実施済み	実施済み			実施済み	<p>令和5年10月に西美濃厚生病院との病床再編により、揖斐郡大野町に「西濃厚生病院」として新病院を開院しました。31診療科を標榜、病床数は400床で、一般急性期293床、回復期リハビリ病棟41床、地域包括ケア病棟41床、西濃医療圏で初となる緩和ケア病棟25床を設置し病床機能を高めます。また、最新の設備と医療器械の導入、放射線治療、ロボット手術など新たな治療にも取り組み、診療機能を充実させます。</p> <p>さらに、災害拠点病院としての役割を担うことで関係機関・行政と連携し、災害時の医療提供体制を確保します。</p>
25	変更	田中医院	神戸町	<p>【現状、特徴】 地域医療 在宅医療</p> <p>【課題】 スタッフの確保</p>	女性ならではの目線を生かして地域医療に更なる貢献をしていく						○	現在入院病棟は休棟中であり、2025年中に廃止予定としております。